

平成29年度評価版



®環境省

エコアクション21

認証番号 0010311

エコアクション21 環境活動レポート

(対象期間: 2017年04月01日～2018年03月31日)



公益社団法人 徳島県環境技術センター

発行日: 2018年06月13日

P	1	環境方針
P	2	組織概要及び認証・登録の対象範囲
P	3	エコアクション21の取組実施体制図
P	4	環境目標及びその実績
P	5	環境活動計画及び 取組結果とその評価、次年度の取組内容
	5	・・・電気使用量とガソリン燃費の向上による二酸化炭素排出量の削減
	6	・・・廃棄物の3R(減量・再使用・再生利用) ・・・水資源の節水
	7	・・・グリーン購入の推進 ・・・浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進
	12	・・・県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動
	13	・・・各支所での取組み
	14	・・・化学物質使用量・産業廃棄物排出量の適正管理
P	15	主な環境負荷の実績と当年度の目標達成状況
	・・・	環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反・訴訟等の有無
P	16	代表者による全体の評価と見直し



基本理念

私たち公益社団法人徳島県環境技術センターは、徳島県における唯一の浄化槽指定検査機関として、県民への浄化槽に関する正しい知識の普及、法定検査の受検促進とともに、水環境保全事業活動を通じ、水環境問題及び限りある資源の保護に積極的に取り組み、豊かな経験と確かな技術で「徳島県の美しい水環境」を次の世代へ引き継いでいくことを理念としております。

そして、この理念のもと全職員が一丸となって環境負荷の継続的な軽減に取り組むことで地球環境を保全し地域社会に貢献します。

行動指針

1. 私たちは次の事項について環境目標、環境活動計画を立て継続的な改善に努めます。
 - 1) 県民への浄化槽に関する正しい知識の普及
 - 2) 法定検査の受検促進
 - 3) 電気使用量とガソリン燃費の向上による二酸化炭素排出量の削減
 - 4) 廃棄物の3R(減量・再使用・再生利用)
 - 5) 水資源の節水
 - 6) グリーン購入の推進
2. 私たちは環境関連法規等を遵守します。
3. 私たちは環境への取り組みを環境レポートとしてまとめ公表します。

公益社団法人

徳島県環境技術センター

会長 大坂 利弘

制定日： 2013年11月1日

◆ 組織概要及び認証・登録の対象範囲

◆ 名称及び代表者名

公益社団法人 徳島県環境技術センター 会長 大坂 利弘

◆ 環境管理責任者及び苦情等担当者連絡先

環境管理責任者 川人 誠司

苦情等担当者 杵保 恭章 黒川 裕文 新川 学

連絡先 088-636-1234

◆ 認証等について

認証・登録番号 0010311 更新・登録日 2016年11月25日

認証・登録日 2014年11月25日 有効期限 2018年11月24日

◆ 所在地及び対象事業所

検査センター(事務局) 〒770-8001 徳島市津田海岸町2番33号
TEL:088-636-1234(代) FAX:088-636-1122

各支所

徳島(徳島事務所) 徳島市新蔵町3丁目80番地 徳島保健所庁舎3階
阿南 阿南市領家町野神319 (南部総合県民局 保健福祉環境部阿南庁舎内)
阿北 吉野川市鴨島町字鴨島106-2(吉野川保健所内)
美馬 美馬市脇町大字猪尻字建神社下南73 (西部総合県民局 美馬庁舎内)
三好 三好市池田町マチ2415(西部総合県民局 三好庁舎内)

ガソリンスタンド倉庫 徳島県徳島市津田海岸町2番41号

◆ 事業内容及び事業活動範囲

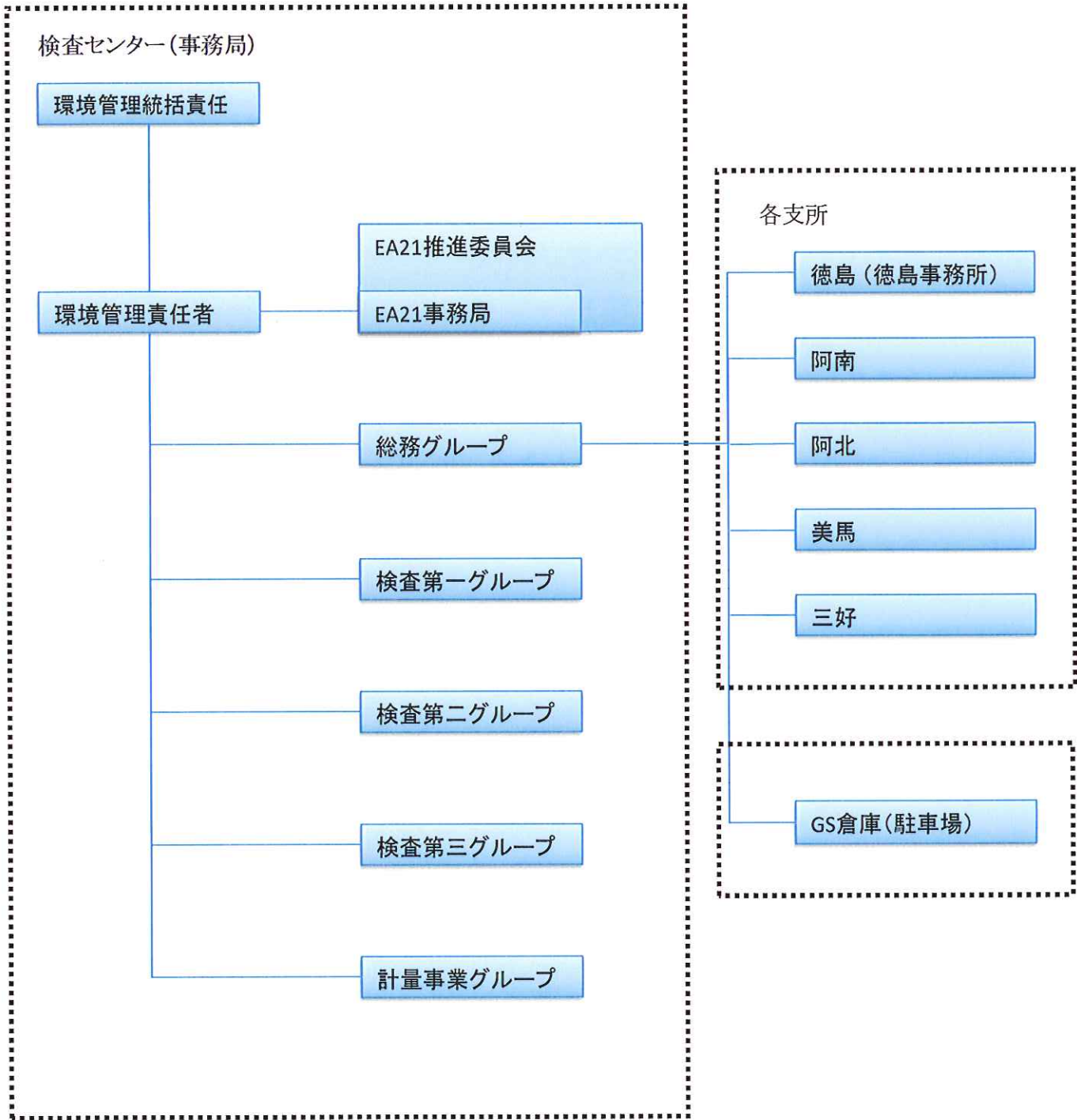
- ・浄化槽法第7条及び11条に基づく法定検査事業
- ・濃度計量証明事業
- ・浄化槽普及啓発・講習会・環境広報活動

事業年度 4月～3月

事業規模 売上 540 百万円 (平成30年3月期)

従業員数 77 人

◆ エコアクション21の取組実施体制図



環境目標及びその実績

項 目 環境方針と整合	年 度	基準値	中期目標							
			2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
		基準年度	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
《定量化できる項目》										
電力使用に伴う 二酸化炭素を削減する。 実排出係数 0.552 kg-CO₂/kWh (四国電力)	kg-CO ₂	205,867	201,750	200,949	199,691	185,995	197,632	167,079	195,574	165,754
		89170.0								
	基準年度比	2012年	-2.0%	-0.4%	-3.0%	-6.9%	-4.0%	-15.5%	-5.0%	-15.2%
ガソリン使用に伴う 二酸化炭素を削減する。	kg-CO ₂	165,254	基準年度の見直しを行ったため、 基準年度以前は記載の削除			165,254	163,601	162,842	161,949	160,839
	基準年度比	2015年				0.0%	-1.0%	-0.5%	-2.0%	-0.7%
一般廃棄物を削減する。	kg	6,635	基準年度の見直しを行ったため、 基準年度以前は記載の削除			6,635	6,569	5,986	6,503	6,256
	基準年度比	2015年				0.0%	-1.0%	-8.9%	-2.0%	-3.8%
水使用量を削減する。	m ³	1,959	1,920	1,841	1,900	1,952	1,881	1,923	1,861	1,781
		851.5								
	基準年度比	2012年	-2.0%	-4.1%	-3.0%	2.7%	-4.0%	2.3%	-5.0%	-4.3%
グリーン購入を推進する。	%	20.92%	22.92%	40.70%	23.92%	37.50%	24.92%	36.50%	25.92%	35.40%
		20.92%								
	基準年度比	2012年	+2.0%	+17.8%	+3.0%	+13.6%	+4.0%	+11.6%	+5.0%	+9.5%
《定性的項目》										
浄化槽法定検査(11条)の 受検率向上の推進 (啓発活動・環境学習等実施)	回	37	37	47	37	51	37	52	37	50
		9								
	基準年度比	2012年	+0.0%	27.0%	+0.0%	37.8%	+0.0%	40.5%	+0.0%	35.1%
県民への浄化槽に関する 正しい知識の普及活動 (浄化槽教室開催)	回	56	56	61	56	46	56	46	56	42
		27								
	基準年度比	2012年	+0.0%	8.9%	+0.0%	-17.9%	+0.0%	-17.9%	+0.0%	-25.0%

※化学物質使用量・産業廃棄物排出量について

当事業所は、水質分析業務に化学物質を使用していますが、公定法に基づき分析を行っているため、化学物質の使用量は決められた量となります。したがって、化学物質の使用量については、削減目標を掲げるのは困難と判断し、環境目標項目に入れておりません。

また、当事業所の産業廃棄物排出量は、全て水質分析業務から排出されるため、同理由により環境目標項目から除外します。

※グリーン購入はエコマーク、グリーン購入法、GPNのいずれかに対応した製品で判定しています。

※2016年度見直しにより、一般廃棄物・みなし一般廃棄物排出量は「一般廃棄物」として統合しました。

※2016年度見直しにより、ガソリン使用に伴う二酸化炭素排出量、一般廃棄物の基準年度を2015年度に再設定しました。

◆ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

◆ 電気使用量とガソリン燃費の向上による二酸化炭素排出量の削減

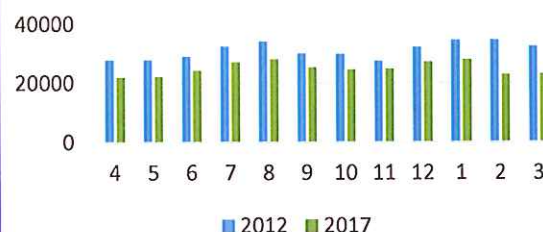
【環境目標】電力使用に伴う二酸化炭素を削減する。2012年度を基準として、**2017年度内に5 %** 削減。

取組計画	達成状況	次年度取組内容
・必要な区域・時間帯のみでの空調	◎	取組継続
・空調の適温化（夏季冷房28℃ 冬期暖房20℃）	◎	取組継続
・OA機器の省電力設定	◎	取組継続
・照明の不要時消灯	◎	取組継続
・クール/ウォームビズの実施	◎	取組継続
・ブラインド等での熱の出入調整	◎	取組継続
・エレベーターの使用方法の励行	◎	取組継続

取組結果とその評価

- ・適切に取り組んでいます。
- ・夏場においては、男性職員はクールビズ、冬場においては、主に女性職員による、膝かけやカーディガンによるウォームビズに取り組んでいます。

電力使用量（基準年度比）



【環境目標】ガソリン使用に伴う二酸化炭素を削減する。2015年度を基準として、**2017年度内に2 %** 削減。

取組計画	達成状況	次年度取組内容
・エコドライブの啓発	○	取組継続
・エコドライブの教育実施	○	取組継続
・エコドライブの励行	○	取組継続
・自動車の日常点検実施	○	取組継続
・デジタルタコグラフでの運行管理	○	取組継続

取組結果とその評価

- ・適切に取り組んでいます。

今年度は、エコドライブのパフレット掲示に加え、シートベルトコンビンサー体験を行い、事故予防への意識改革、シートベルトの重要性を学びました。



また、日々の運行管理や車両の定期点検を細かく行うことで、職員の無事故継続を意識する取組みも引き続き行っています。



◆廃棄物の3R(減量・再使用・再生利用)

【環境目標】一般廃棄物を削減する。2015年度を基準として、**2017年度内に2%削減**。

取組計画	達成状況	次年度 取組内容
・詰替可能事務用品等の購入	○	取組継続
・印刷物等の残部が出ないように工夫し印刷	○	取組継続
・パンフ有効期限等、無駄のない発注	○	取組継続
・廃棄時分別。可能なものはリサイクル	○	取組継続
・廃棄物の分別の啓発	○	取組継続
・廃棄物の分別の励行	○	取組継続

取組結果とその評価

- ・適切に取り組んでいます。
昨年度、計量器を新調した事により、より正確な排出量の管理が行えている。
基準年度に比べ、排出量がオーバーした月もあるが、粗大ゴミの排出のタイミングで可変となるため、対応の必要な無しと考える。

アルミ・スチール(飲料用)等は全て分別後、リサイクル資源として
回収業者へ持ち込んでいます。



◆水資源の節水

【環境目標】水使用量を削減する。2012年度を基準として、**2017年度内に5%削減**。

取組計画	達成状況	次年度 取組内容
・節水シール等での節水啓発	○	取組継続
・各部署職員節水の励行	○	取組継続

取組結果とその評価

- ・適切に取り組んでいます。
12月に導入した節水シャワーヘッドの効果により、12月以降、検査数が増加したにもかかわらず、水使用量が減少するという結果となった。
ビンの洗浄に用いる別の水道蛇口にも追加導入を検討したい。



◆グリーン購入の推進

【環境目標】グリーン購入を推進する。適合商品購入割合を2012年度を基準として、**2017年度内に5%向**

取組計画	達成状況	次年度 取組内容
・グリーン購入の啓発	○	取組継続
・環境ラベル認定等製品を優先的に購入	○	取組継続

取組結果とその評価



・非常に良く実施で出来ている。(約600品目/年)
(近年はグリーン購入対象製品も増え、特に意識しなくても取組める)
次年度も継続したい。

◆浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進

環境コミュニケーションの一環として、子供向け啓発事業である環境教室、水の大切さを知ってもらうため夏休みの宿題のポスターコンクール、また、環境保全の意識高揚を図り、イベントや各種ボランティア活動への積極的な参加を行う。これら環境コミュニケーションの取組実施により浄化槽法定検査の受検率向上の推進をはかる。

【環境目標】浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進(啓発活動・環境学習等実施)

取組計画	達成状況	次年度 取組内容
・啓発活動・環境学習等実施状況	○	取組継続

取組結果とその評価

【環境パレード・街頭啓発活動】

今年度は県内の主要各地(主にショッピングセンター)において活動の場を頂いた。活動の一環で実施している浄化槽アンケートの結果では、浄化槽の必要性が感じられた。

【CSR・パークアドプト】

4月の津田六右衛門祭り、6月のリフレッシュ瀬戸内(金磯海岸清掃ボランティア活動)、また、阿南市こどもフェスティバルやサイエンスフェア等は毎年恒例行事となっており、大人から子供までふれあい、地域貢献、社会貢献を実現している。パークアドプト運動(草刈り)においても恒例行事とし、地元住民とふれあい、地域密着型の団体としてアピール出来ているのではないかと感じられる。28年度からの試みの「海岸生物調査」のフィールド活動は、特に地元小学校からも人気で即日予約の埋まる状況であり、水環境保全の活動の場を広げている。

【ポスターコンクール】

今年度の「浄化槽の日」のポスターコンクールは小学生の部・中学生の部、計68名の応募を頂き、優秀賞、最優秀賞の受賞者(各部それぞれ3点、1点)は徳島県知事より表彰を頂いた。

【環境学習】

今年度は年間25回の実施となり県内各小学校において、水の大切さや、汚水処理の必要性に関して学んでもらった。座学の後に行う水の実験講座も大好評である。また、地元ケーブルテレビで取り上げられたりと飛躍の大きな1年となった。

◆ ～ 社会貢献 ・ボランティア ・イベント活動 ・啓発活動 ～ ◆

街頭啓発活動



ハローズ鳴門店①



ハローズ鳴門店②



ショッピングプラザ アピカ



マルナカ脇町店



フレスポ阿波池田

六右衛門祭り



金魚すくい準備中



今年も一番人気です!



駄菓子コーナーもあります



今年も「出会い・ふれあい・助け合い」

リフレッシュ瀬戸内清掃活動



早朝から頑張ってる総長



頑張リアピール



負けじとアピール



もくもくと清掃



いつもの記念撮影

阿南市こどもフェスティバル



「水のふしぎとイロハ」



アサリの浄化実験

サイエンスフェア 2017 おもしろ博士の実験室



使い捨て弁当箱を...



オーブントースターで...



2日で約300人近くが来場！！



オリジナルキーホルダー

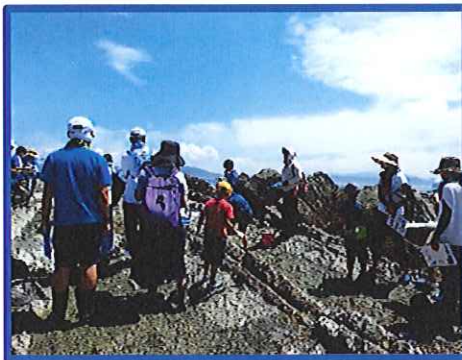


出来上がり！

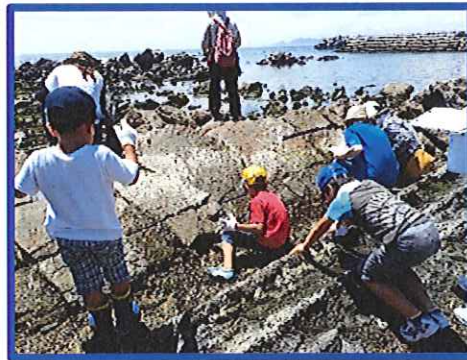
海岸生物調査



この生物なんだろう？



いろんな生物探します！

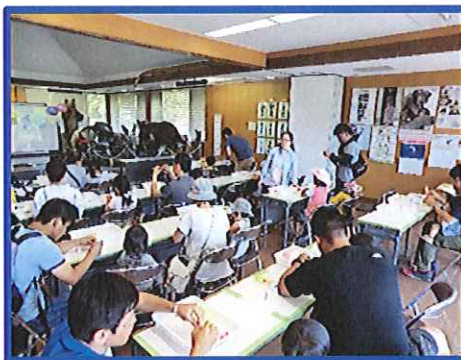


足元に気を付けて・・・

エコ eco 体験



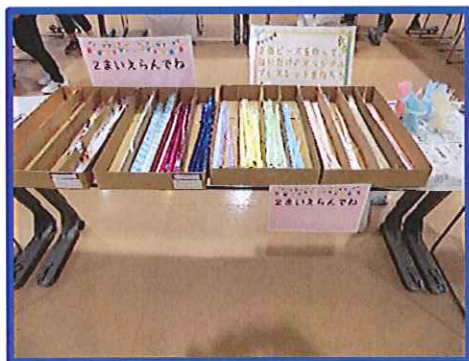
in 徳島動物園



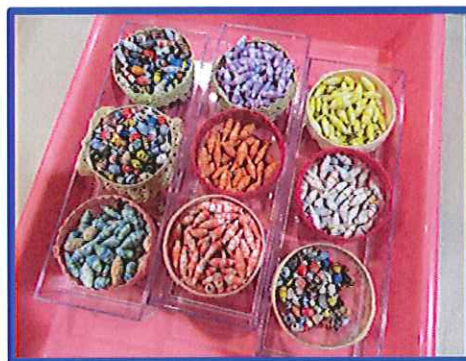
チラシや包装紙を用い・・・



ブレスレット作成！



👉👉👉 が ⇒⇒⇒



👉 こうなって・・・ス

竹の水てっぽうで花に水やりを・・・ (あすたむらんど水の日イベント)



手作りペットボトルじょうろと竹てっぽう



お花に水やり！

「浄化槽の日」ポスターコンクール



厳正な審査を終えて・・・



受賞者 徳島県知事表彰

パークアドプト清掃活動



夏も刈る



冬も刈る



ひたすら運ぶ

環境学習出前講座 徳島県内 計25回（参加者 803 名）



◆県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動

【環境目標】県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動(浄化槽教室開催)

取組計画	達成状況	次年度 取組内容
・浄化槽教室の開催状況	×是正要	取組継続

取組結果とその評価

年間開催数は42会場(計画数 40 + 2個別開催)であった。元々の浄化槽設置申請数も年々減少傾向にあるが、今年度は単位受講者数も若干減少傾向が伺える。新規浄化槽の設置補助額が減額になった市町村や、補助金を廃止する市町村が増えた事も原因の一つである可能性もある。

今後も浄化槽に関する正しい知識の普及として講習内容を充実させたい。

2017年度実績 1,713名 開催回数個別込42

2016年度実績 1,864名 開催回数個別込46

2015年度実績 1,815名 開催回数個別込46

2014年度実績 1,814名 開催回数個別込61

徳島会場の様子



その他の会場の様子



◆各支所での取組み及び取組結果とその評価

1

【環境目標】電力使用に伴う二酸化炭素を削減する。

取組計画	達成状況 次年度取組内容				
	徳島	阿南	阿北	美馬	三好
・OA機器の省電力設定	◎ 継続	◎ 継続	◎ 継続	◎ 継続	◎ 継続
・照明の不要時消灯	◎ 継続	- -	- -	- -	- -
・クール/ウォームビズの実施	◎ 継続	◎ 継続	◎ 継続	◎ 継続	◎ 継続

取組結果とその評価(5支所総括)

- ・各庁舎のルールに従い、休憩時の消灯、節電に取り組んでいます。
- ・離席時はパソコンをスリープモード、パスワードロックを行うように取り組んでいます。
また、ひざ掛け、カーディガン、冷感マット等によりウォーム・クールビズ活動も積極的に取り組んでいます。
- ・不要箇所の消灯も積極的に行い、窓やドアの開閉により極力空調に頼らず節電する事に取り組めた。

2

【環境目標】一般廃棄物を削減する

取組計画	達成状況 次年度取組内容				
	徳島	阿南	阿北	美馬	三好
・廃棄物の分別の励行	◎ 継続	◎ 継続	◎ 継続	◎ 継続	◎ 継続

取組結果とその評価(5支所総括)

- ・各支所ともに庁舎のルールに従い適正に分別、廃棄を行えたと言える。
- ・燃えるゴミ・燃えないゴミ、カン・ビン・PET・シュレッダーダストなど基本的な分別に加えて、ホチキスの針やダンボールのテープ等、さらに細かな取り組みを行っている庁舎もあった。
シュレッダー部分以外をメモ用紙として再利用するなどリサイクルも意識して取り組めた。

3

【環境目標】水使用量を削減する

取組計画	達成状況 次年度取組内容				
	徳島	阿南	阿北	美馬	三好
・各職員節水の励行	◎ 継続	◎ 継続	◎ 継続	◎ 継続	◎ 継続

取組結果とその評価(5支所総括)

- ・各支所、各庁舎の掲示に従い節水を励行しています。
(洗い物時はこまめに水道を止めたり、水压を低めで使用する事など)
- ・トイレ用擬音装置を使用するなど、節水に取り組めました。

《化学物質使用量・産業廃棄物排出量の適正管理》

化学物質使用量の適正管理

当事業所の化学物質使用量は、濃度計量証明事業の業務遂行上、公定法に基づく使用量が排出量となるため、削減等が出来ません。環境目標からは除外していますが適正な管理・委託処分に取り組んでおります。

取組計画	達成状況	次年度 取組内容
・適正な保管に関する管理状況	◎	取組継続
・分析に関わる使用量の管理状況	◎	取組継続

取組結果とその評価

使用頻度は少ないが、使用、管理方法等、適正に取り組んでいます。



産業廃棄物排出量の適正管理

当事業所の産業廃棄物排出量は、全て水質分析業務から排出されるため、同理由により環境目標項目から除外します。

取組計画	達成状況	次年度 取組内容
・適正な保管に関する管理状況	◎	取組継続
・適正な処分に関する管理状況	◎	取組継続

取組結果とその評価



産業廃棄物の保管、廃棄依頼から処分までの各工程においても適正に取り組まれています。
(マニフェスト管理)

◆

主な環境負荷の実績と当年度の環境目標達成状況

(評価運用期間：2017/04/01～2018/03/31)

年度(直近3ヵ年)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
※ 延 べ 床 面 積	m ²	1348.07	1348.07	1348.07	1348.07
職 員 数	人	75	73	76	77
温 室 効 果 ガ ス 排 出 量	kg-CO ₂	384711	349656	330378	327090
電 気 使 用 量	kWh	364038	336947	302679	300279
ガ ス 使 用 量	kg	202.86	175.743	169.74	184.85
ガ ソ リ ン 使 用 量	ℓ	76798.4	70289.2	70140.5	69277.5
水 道 使 用 量	m ³	1841	1952	1923	1781
総 排 水 量	m ³	1861.837	1973.2898	1973.62	1802.9
一 般 廃 棄 物 排 出 量	t	6.6134	6.635	5.9861	6.2569
産 業 廃 棄 物 排 出 量	t	0.2212	0.791	0.192	0.152

※延べ床面積は環境負荷の計測が可能な検査センターのみの面積となります(駐車場スペース除く)。

◆

当年度目標達成状況

《定量的項目》

(評価運用期間：2017/04/01～2018/03/31)

環境目標		目標値	実績値	達成率	判定
電 力 使 用 に よ る 二 酸 化 炭 素 削 減	kg-CO ₂	195,574	165,754	118.0%	◎
ガソリン燃費向上による 二 酸 化 炭 素 削 減	kg-CO ₂	161,949	160,839	100.7%	○
一 般 廃 棄 物 の 削 減	kg	6,503	6,256	103.9%	○
水 使 用 量 を 削 減	m ³	1,861	1,781	104.5%	○
グ リ ー ン 購 入 率 U P	%	25.92	35.40	136.6%	◎

《定性的項目》

(評価運用期間：2017/04/01～2018/03/31)

法 定 検 査 受 検 推 進 の た め の 各 種 環 境 活 動	37 回	50 回	135.0%	◎
県 民 へ の 浄 化 槽 に 関 す る 正 し い 知 識 の 普 及 活 動 (浄 化 槽 教 室)	56 回	42 回	75.0%	×

達成率凡例	～ 90 %	×	100 ～ 110 %	○
	90 ～ 100 %	△	110 ～ %	◎

◆

環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反・訴訟等の有無

◆

適用される主な環境関連法規制

- ・浄化槽法
 ・水質汚濁防止法
 ・計量法
- ・廃棄物処理法
 ・道路交通法
- ・徳島県浄化槽取扱要綱
 ・グリーン購入法

遵守評価日 平成30年05月18日
 当センターに適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
 また、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は、過去3年間ありません。



代表者による全体の評価と見直し

実施概要

評価実施日	2018年06月13日
評価期間	2017年04月01日 ～ 2018年03月31日
実施場所	(公社)徳島県環境技術センター 3階
出席者	環境管理統括責任者、環境管理責任者、EA21事務局
資料・記録	エコアクション21 環境関連 《文書》《記録》

実施内容

項目	代表者の指示事項（変更の必要性）
環境方針	・ガイドライン2017に沿った環境方針へ改定。 ・引続き全職員が一丸となり活動を行う事。
環境目標及び環境活動計画	・一部環境目標において、総量評価ではなく、原単位での評価とする事。 ・今後も、環境負荷の削減に向けてより適切な対応に努め、定期的に夕礼等で予防処置など呼びかける事
その他 (EMS全体)	・変更の必要はありません。

総括（全体評価）

エコアクション21に取り組み始めて4年半が経過したが、この活動を組織全体に着実に浸透させるため、2017年度も計画数値を設定し、職員が一丸となって積極的に活動を行った。

まず、電気使用量とガソリン燃費向上であるが、
電気使用量は2012年対比で5%削減、
ガソリンは2015年対比で2%削減の目標を達成した。
主な施策としては、夏場のクールビズや冬場のウォームビズ、
燃費は、各検査車両ごとに個別に燃費を計測、
平均を下回る担当者には、エコ運転とアイドリングストップを徹底した。

次に廃棄物の3Rと節水については、分別を徹底、
アルミ・スチール等はリサイクル資源として回収業者に持ち込んだ。
また洗浄作業における節水シャワーヘッド導入の効果により、
検査数の増加にかかわらず使用水量は減少した（2012年対比5%削減）

グリーン購入の推進については、対象品目も増えたことから
年間約600品目中200品目（約1/3）を占めるまでとなり、非常に順調に推移している。

さらに、浄化槽法定検査の受検率向上の推進については、
環境パレードや街頭啓発活動、CSR・パークアドプト、
ポスターコンクールなどを通じて水の大切さを啓発、
特に子供たちを対象とした環境学習では、
水の大切さと、その水を守るための污水处理の必要性について
座学と実験講座で学んでもらい、非常に好評を得ており、
地元ケーブルテレビで取り上げられるなど飛躍の年となった。

なお、県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動では、
唯一目標が未達成となった。
設置数の減少に伴う浄化槽教室の開催回数の減少が主原因であり、
また、補助金の廃止や減額なども影響していると思われるが、
啓発の機会としては、大変有効な場であるので、今後も内容を見直し、
バージョンアップを図りながら継続したいと考えている。

その他、
各支所での取り組みや化学物質使用量・産業廃棄物排出量の適正管理についても、
適正に取り組めている。

以上のように、全体としてほぼ目標は達成できているが、
これは一人一人が環境への意識を高め、行動に移し、持続し、広げていく、
そんな行動が組織として定着してきている結果だと受け止めている。

水環境保全を定款の目的に掲げている団体として、
その社会的責任を果たすため、今後も役職員一人一人が果たすべき
役割と責任を意識・自覚し、
積極的に環境問題と向き合い、
定款の目的達成に向けてさらに自発的・主体的に活動を進めて参りたい。

